

令和4年度 第9回西区自治協議会会議録

日時：令和4年12月27日（火）午後3:00～

会場：西区役所健康センター棟1階 大会議室

（事務局）

では再開させていただきたいと思います。本日はお忙しい中、お集まりいただき、誠にありがとうございます。教育ミーティングからご参加いただきました委員の皆様は引き続きとなりますが、どうぞよろしく願いいたします。ただいまから令和4年度第9回西区自治協議会を開会いたします。本日の出席委員は通常参加31名、リモート参加は0名、計31名の予定であり、新潟市区自治協議会条例第9条第2項の規定を満たしておりますので、本日の会議が成立していることをご報告いたします。なお本日の会議について、会議録の公表にあたり、正確性を期すため会議の内容を録音させていただきますことをご了承いただき、またご発言の際に、所属、お名前をお知らせいただきたいことを、併せてお願いさせていただきます。

本日の会議は「新しい生活様式」に基づいた新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に配慮して開催いたします。皆様からはマスクをご着用いただき、職員もマスクを着用したまま発言をさせていただきます。

それでは資料の確認をいたします。事前に配布いたしました資料は、次第と資料1から資料6です。本日お持ちでない方はいらっしゃいませんか。では本日お配りしました資料の確認をお願いいたします。まず一番上が座席表となっております。そのほか各種チラシとなっております。資料の確認は以上となりますが、不足等ございませんでしょうか。

では、また今回の本会において、報道関係から取材の申し出がございました。許可したいと思いますが、よろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

（事務局）

ありがとうございます。それではご承知おきください。

では以降の議事進行につきましては、大谷会長にお願いしたいと思います。よろしく願いいたします。

（大谷会長）

それでは本会の会議を進めてまいります。議事の（1）西区地域公共交通検討会議についてです。資料1に基づき高山地域課長より説明をお願いいたします。

(高山地域課長)

それでは説明させていただきます。お手元の資料1-1をご覧ください。西区では持続可能な地域公共交通網の形成に向けて、地域の実情に応じた地域公共交通のあり方について、西区地域公共交通検討会議を必要に応じて開催しています。資料2枚目の裏面をご覧ください。こちらが会議の構成員となっています。会議には西区の自治協議会のほか、交通事業者、警察等から委員として参画をいただいています。昨年度の会議では、第3部会の正副部会長のほか、岩沢委員、伊藤甲一委員、大谷会長にご出席をいただき、令和2年3月に改定しました西区生活交通改善プランについて、令和3年度の進捗状況の検証を行いました。昨年同様、取り組みの検証を実施するにあたって、西区地域公共交通検討会議を開催し、ご意見をお聞きしたいと考えています。つきましては、専門性や地域バランスなどを考慮のうえ、西区自治協議会から5名の委員の推薦をいただけるよう、ご依頼申し上げます。説明は以上となります。よろしくお願いいたします。

(大谷会長)

ただいま高山地域課長から説明がありました委員の推薦についてですが、資料1-2「西区地域公共交通検討会議構成委員(案)」をご覧くださいと思います。西区自治協議会からは、まずは公共交通を所管する第3部会長の岩脇委員、同じく副部会長の山賀委員、また地域からの代表は、多様な地域の意見を反映させる趣旨から、坂井輪地区は高田委員、黒埼地区は伊藤正弘委員、西地区は五十嵐秀子委員、以上5名を推薦したいと思いますが、よろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

(大谷会長)

異議なしということですので、構成員の皆さんはよろしくお願いいたしますと思います。続きまして、自治協議会からの報告(1)部会の状況報告についてです。概要を各部会長より簡潔に報告していただきたいと思います。岩沢第1部会長からお願いいたします。

(岩沢委員)

岩沢です。第1部会は第9回、12月8日4時から5時20分。出欠につきましては下記のとおりです。主な議事について説明したいと思います。1 令和4年度自治協議会提案事業、私どものやっています環境美化の実施状況について、事務局よりパートナー制度、ピリカの参加数等々についてご報告がありました。パートナーについては15社、ピリカについては残念ながら2人、3人ということで非常に少なかったということです。今後の課題だと思っています。今年度の実施状況を振り返って、パートナー制度、ピリカを使用した個人向けイベントそれぞれをグループワークで振り返り、部会内で共有しました。委員からは下のとおり意見がありました。

パートナー制度です。従来より環境美化に取り組んでいた企業の活動が、今回の事業を通して広く区民に認知してもらえたことは大きな成果であったと思っています。各団体の取組をより知ってもらうために中間報告の機会を設けることができればよかった。残念ながら期間が少なかつたために中間報告ができなかったという理由もありますが、これはおおいに反省すべき点だと思っています。

ピリカについては、ダウンロードをしてアカウント登録をしても、日常使いに至るまではハードルが高いということで、私もそうでしたが、登録はしたのですが、なかなか運用できなかったということも併せて反省しているところです。車中心の生活の人には浸透しにくいかもしれないので、次年度はイベントを活用し、ピリカのダウンロードから使い方まで、楽しく学ぶ機会を設けてはどうかというお話がありました。これはいわゆる浸透するということです。

共通しては、初の事業を2つやり切ったことは大きな成果でした。市や区役所が行っている広報に織り交ぜて広報できるとよかった。今年は取り組み初年度で先ほども言いましたように実施期間が短かつたので、次年度はもう少し長い期間取り組めるとよいのではないかとということになりました。

裏面を見ていただけますか。2は令和5年度自治協議会提案事業として、今年度同様「環境美化」で取り組むイベントについて、グループワークでアイデアを出し合いました。委員から出た主な意見は下のとおりです。イベントの対象について。親と子が双方に影響を与えることができ、より多くの区民にイベントに参加してもらうため、親子を対象にすると非常によいのではないかと、強いお話がありました。イベントの目的は、参加者にごみを拾う意識を持ってもらい、習慣的にごみ拾いを続けてもらうきっかけづくりが行えれば非常にいいということです。その他、該当エリアで活動する団体などを巻き込んだイベントを行うことで、環境美化を波及させることができるのではないかとということでした。

3番目はその他です。10月の犯罪発生状況について、総務課長から説明がありました。ご案内のとおり、なかなか西区もオレオレ詐欺に引っかかって、何例もあります。もう年末もあれですが、お年寄りさんが非常にお金があるものですから、皆様のご支援をいただきながら、引っかからないようにしていただければありがたいと思っています。

昨日も山村さんがテレビに出ていました。この有名な人が1月14日に開催する防災講演会について事務局より案内がありました。皆様方にぜひ出ていただきたいと思っています。3月19日発行の自治協議会広報紙、第41号の部会活動の掲載について、長澤委員から報告がありました。懇切丁寧にアルプスオート様の名前を出していただきました。これによって先ほど言いました15社が登録されていますので、これによっておおいに意識が上がるのではないかと、大きく求めているところです。

次回は1月13日、午後1時半に開催する予定です。以上です。

(大谷会長)

ありがとうございました。続きまして第2部会ですが、本日五十嵐部会長が欠席のため、

木村副部長よりご報告をいただきたいと思います。木村副部長、お願いいたします。

(木村委員)

木村です。皆さん、第2部会の会議概要をご覧いただきたいと思います。そこにも書いてありますとおり、12月13日に3時から4時15分、西区役所の4階対策室で行いました。委員の出席はそこに書いてあるとおりです。事務局の方々の出席もそこに書いてあるとおりです。

主な議事です。まず2部会は所轄分野として保健・福祉・文化・スポーツ・教育を分野としています。1 令和4年度自治協議会提案事業「支え合いの大切さ普及事業」について、アンケート速報の共有と簡易ワークショップによる次年度事業を検討をしました。10月の中旬まで行っていた「支え合いに関するアンケート」の速報結果について、事務局より説明をいただきました。10月29日に行われたワークショップで出されたアイデアを大きく分けると2つになります。1つは「あいさつ」と「場づくり」ということで分類したため、この2つのテーマについてできる支え合いの大切さ普及事業を、参加者2つの班に分かれてワークショップ形式で検討をしました。その中で出された主な意見は点線の四角の中に囲ってあるとおりです。

まず「あいさつ」です。月の「5」の付く日はあいさつデーのように設定し、定期的に続けてはどうだろうかというご意見。そして学生などにグッズ作成をお願いし、PRしてはどうか。モチベーションを上げるために、ポイント制度などを設けて、景品を付けたらどうかという意見がありました。

「場づくり」については、地域の会合などに社会人や学生などを呼んではどうか。助け合いのきっかけとなる既存のマーク（マタニティマーク・ヘルプマーク）などを周知してはどうかという意見がありました。そしてそのマークを裏返したら、助けてほしい、私に手を貸してくださいというメッセージが書かれている、意思表示ができるものを作成してはどうかという意見がありました。

出された意見を参考に、来月再度審議することとしました。裏面を見ていただければと思います。そこにはその他として、5年1月14日に開催する防災講演会について、事務局より案が示されました。そして今回は1月10日に部会会議があるという周知をしたところです。以上です。

(大谷会長)

ありがとうございました。続きまして岩脇第3部会長、お願いいたします。

(岩脇委員)

それでは第3部会の会議概要を報告いたします。所管分野は産業、区の魅力発信、交通等です。開催日時、会場、出席者は記載のとおりです。主な議事として1 令和4年度自治協議会提案事業「魅力の発掘」について。前回の部会までに挙げた候補の中から、西

区八景を絞り込み、その周知方法について検討を行うため、グループワークを行いました。八景について、関屋分水やその周辺で行われる花植え活動は、地域住民の姿が見えてよい。大学生がいる風景は、他区にはない西区の大きな特徴といえる。北国街道は歴史情緒を感じる。佐潟は西区を代表するスポットで、西区を語るうえで外せない。くろさき茶豆大橋からの景色は壮大で、西区の広い田園風景を一望できる。新川大橋から見える夕日は西区のトップクラスの夕日である。松美の森の松林は、西区が抱える飛砂問題を解決するために、西区民の生活の一部となっている。広大な砂丘も西区を象徴している。

周知方法として、媒体への周知を図る。特にインターネット上に掲載する。そこにアクセスするためのQRコードを記載したチラシを配る。スマートフォンなどの操作が苦手な方向けに、QRコードを利用したアクセス方法なども併せて広報していく。

次回の部会は八景の最終選定を行い、決定した周知方法に従い作業を進めることとしました。

裏面はその他です。先ほど各部会が申し上げた防災講演会について、事務局からご説明がありました。あとは3月19日発行の自治協議会の広報紙41号への部会活動の掲載について、事務局より説明がありました。次回は1月12日午後3時からの予定です。以上で報告を終わります。

(大谷会長)

ありがとうございました。続きまして長澤広報紙特別部会長、お願いいたします。

(長澤委員)

広報紙特別部会は第7回会議を12月5日に行いました。出欠については記載のとおりです。第1の議事については、第40号の最終校正について、チェックと意見を取りまとめました。今日お配りしている資料に40号のゲラ刷りが入っていると思います。こちらが最終的なものになりますので、この内容で18日の発行としています。

続いて41号の紙面内容について。41号については、発行時期が3月です。まず自治協の活動紹介として、第3部会が取り組んでいる西区八景、第1部会においては引き続き環境美化。第2部会の支え合いについて、それぞれ掲載予定です。

2面については、創立50周年を迎える学校の紹介ということでシリーズで紹介しました最後の学校となります大野小学校について掲載予定です。続きまして恒例となっていますクロスワードパズル、とっておきの私の一枚。年度最後となります41号については、編集後記も併せて掲載予定です。

次回開催は1月18日3時からとしています。以上です。

(大谷会長)

ありがとうございました。それでは各部会の状況報告全体を通して、ご質問を受けたい

と思います。いかがでしょうか。

質問はないようですので、次に進めさせていただきます。続きまして、自治協議会からの報告の（２）委員推薦会議の状況報告です。概要を岩沢座長より簡潔に報告していただきたいと思います。それではお願いいたします。

（岩沢委員）

また出ました。岩沢です。第２回の推薦会議は１２月８日に実施しました。出欠についてはご覧のとおりです。

主な議事として、公募委員の募集についてです。来年の１月１日発行の西区だよりで広報する記事内容（案）について検討をし、１月４日から２月３日までの１カ月間、募集を行います。

２として募集方法・選考方法について。２月の推薦会議で審査し、１カ月間の募集の結果、公募委員を決定することとしました。審査は例年同様、作文で８００字以上、１２００字以内、及び活動歴により行うこととしました。これは今年と同じです。応募数が募集人数に達すればいいのですが、達しない場合、または審査の結果合格者が募集人員に達しなかった場合は欠員とすることとしました。

委員全体の構成について、今現在３６名です。その中に３名の公募委員が入っています。構成の方向性について、そのような形にしました。全体として、団体を代表した発言や団体への報告ができる方の推薦をお願いしたい。それから積極的に今はやりの女性の比率を上げようということで、選出いただくように配慮いただきたいということです。２号委員及び３号委員については、次期に取り組む問題の分野の専門性を考慮する。若年層を積極的に選出いただくように配慮を依頼する。２号委員の選出を依頼する団体及び、３号委員の選出根拠となる分野は今年度同様であるということです。

次回は１月１３日に予定しています。以上です。

（大谷会長）

ありがとうございました。ただいまの報告について質問はありませんか。

ないようですので、引き続き自治協議会からの報告の（３）令和４年度第２回新潟市区自治協議会会長会議について資料４に基づき、私から報告させていただきます

去る１２月１日に新潟市区自治協議会会長会議が開催されました。当日は９月に実施した自治協委員アンケートの結果報告とアンケート結果を踏まえた今後の取り組み並びに令和４年度委員研修会及び第８期振り返り資料の方向性について、を協議しました。

アンケートの結果については、資料４の次の当日会議資料１に詳しく記載されていますので、ご覧いただきたいと思います。

課題の項目については、市民協働課で設定した中から３つ選択する方法で行われました。回答の多い３つの項目として、１つには自治協議会の認知度向上、２番目に幅広い年代の委員の確保、３番目には住民の意見・ニーズの把握方法で、それぞれ自由記載欄から抜粋・

要約したものが、点線の囲み部分に記載されています。また課題解決に向けて必要な改善、取り組みの方向性についても資料1の裏面に記載しています。

回答の多い3つの項目として、1つには広報・発信力強化に向けた取り組み。2番目には地域課題や住民ニーズの把握力強化に向けた取り組み。3番目には全体会や部会の運営力強化に向けた取り組みでして、それぞれ自由記載欄から抜粋・要約したものが、点線の囲み部分に記載されています。

同様に委員研修に関連する意見として、地域課題の解決に向けた検討や話し合いの技術が第4位に、それから委員としてのスキルアップが第5位にランクされまして、それぞれ自由記載欄から抜粋・要約したものが、点線の囲み部分に記載されています。

以上の説明を受けて、当日会議資料2の「アンケート結果を踏まえた今後の取り組み案について」並びに会議資料3の「令和4年度委員研修会及び第8期振り返り資料の方向性について(案)」について、それぞれ協議を行いました。

最初に4枚目の会議資料3をご覧いただきたいと思います。「令和4年度の委員研修会及び第8期振り返り資料の方向性について(案)」をご覧いただきたいと思います。コロナ以前は毎年8区全体で委員研修会を実施してきましたが、8期の1年目は未実施のままで、8期の2年目、今年度は一堂に会する形式から、各区ごとに意見交換を行うこととする方向性で承知をいたしていました。しかし意見交換会の実施については確定していない部分が多くありますので、資料内に「調整中」と記載された部分については、内容が確定次第改めてご説明をさせていただきたいと思います。

それでは一枚戻っていただいて、右上に資料2と記載されている「アンケート結果を踏まえた今後の取り組み案について」をご覧いただきたいと思います。取り組みの方針案として、課題意識の高い項目を集中的に取り組むということで、その方向性の案として、一つには区民アンケートの定期的な実施。2番目に幅広い年代の委員の確保策として、2年後の委員改選に向けての検討の開始。それから3番目として委員研修の次期及び内容の見直しが提示されました。具体的な方向性の案の説明がそれぞれ示されていますのでお目通しをいただきたいと思います。

恐縮ですが裏面に令和5年度の改善に向けてのスケジュールとイメージ案が提示されています。こちらの紙面も調整中とありますが、内容を確定しないまま会議をおいています。なお私からは自治協議会が発足して既に16年も経過している中で、自治協議会の認知度向上をことさらに議論することに違和感を覚えることと、それから8区の全ての自治協議会は、自治協提案の事業予算とは別途に予算措置を得て、それぞれが広報紙を発行して認知度向上に取り組んでいることの指摘もさせていただきました。

加えて令和5年度の改善に向けて、区民アンケートと委員研修の実施方法について、各自治協の各部会で意見交換を行ってほしいという取り組み案の提示については、第8期が間もなく終わる令和4年12月から令和5年2月までの時間がない中で、8区全体に一律に求めるのは適切でない旨を申し上げさせていただきました。いずれにいたしましても、コロナの関係で第8期の区自治協議会会長会議の開催頻度が少なく、事前の内容を精査する

ことがなく、結果として市民協働課とのコミュニケーションに不足があったように感じました。私からの報告は以上です。

質問がありましたらお願いしたいと思います。いかがでしょうか。

ないようですので、各所管課からの報告に移りたいと思います。(1) 西区区ビジョンまちづくり計画(案)の市民意見募集(パブリックコメント)についてです。高山地域課長より説明をお願いします。

(高山地域課長)

それでは西区区ビジョンまちづくり計画(素案)の市民意見募集(パブリックコメント)について説明をさせていただきます。資料5をご覧ください。西区自治協議会委員の皆様からも意見をいただきながら、次期区ビジョンまちづくり計画の素案がまとまりました。大変ありがとうございました。今回策定しましたこの素案について現在、広く市民から意見を募集しています。

2つ目の四角になります。募集期間ですが、12月19日から意見募集を開始していて、来年、1月17日を締め切りとしています。その下、資料の閲覧、配布場所ですが、市役所本館1階にあります市政情報室、各区役所の地域課または地域総務課、各出張所、中央図書館に設置してあるほか、市役所及び西区役所のホームページ上で公開しています。意見の提出先は、郵送、ファックス、または電子メールにて西区地域課に提出していただくか、先程の資料の閲覧、配布場所に直接持参していただくこととなります。

その下、注意事項としては、1番の①から③に記載した事項以外についてご意見をいただくこと、2番目としては氏名、住所、連絡先を記入していただくこと、3番目は締切日に必着、4番目は電話や口頭では受け付けない、5番目は意見書の様式はホームページからも取得できますが任意の様式でも構わない、とさせていただきます。

では裏面をご覧ください。いただいたご意見の取り扱いですが、この手続きにより収集した個人情報については「新潟市個人情報取扱条例」に基づき取り扱います。また、いただいた意見に対して個別回答はしませんが、その概要をとりまとめ、市の考え方とあわせて公表するとともに、西区自治協議会本会でも報告する予定としています。説明は以上です。

(大谷会長)

ありがとうございました。ただいまの報告について質問はありませんか。

質問はないようですので、その他に移りたいと思います。その他の(1)前回照会の回答について(イノシシ関連)です。治田区民生活課長より説明をお願いします。

(治田区民生活課長)

区民生活課長の治田です。前回11月の自治協でご質問いただいた西蒲区のイノシシの出没状況についてご報告をさせていただきます。なお西蒲区では自治協議会等でイノシシの

出没情報を報告していないため、ホームページに掲載している地図であれば配布してよいと了承を得ましたので、本日お配りした資料は出没状況の位置図のみになりますが、それぞれの地域ごとの目撃と痕跡の件数を口頭で申し上げますので、ご了承ください。

それでは資料6をご覧ください。こちらは今年度11月末までの西蒲区でのイノシシの出没情報の位置図です。はじめに地図の左下、1 間瀬、小さく書いていますこの地域ですが、目撃は0件、痕跡が5件でした。続きまして地図の中央左上、一番大きな囲みの2 越前浜・角田浜の地域は、目撃が3件、痕跡が9件でした。そのすぐ下、縦の四角の3 稲島・伏部の地域は、目撃が1件、痕跡が3件でした。最後にその左下、4 福井・樋曾・岩室温泉の地域は、目撃が6件、痕跡が30件と一番件数の多い地域となっています。その他の地域でも10件の目撃や痕跡があり、西蒲区全体でのイノシシの出没件数としましては、目撃が12件、痕跡が55件の合計67件となっております。詳細については、西蒲区のホームページをご覧くださいますようお願いいたします。

なお西区では先月の報告以降目撃情報はありません。このまま静かに年末年始を迎えられるとよいと思っています。以上、区民生活課からの報告を終わります。ありがとうございました。

(大谷会長)

ありがとうございました。西区の出没状況はやはり西蒲区との関連が非常に強いということですね。ありがとうございました。他に質問がありましたら、お願いいたします。

ないようですので、その他に委員の皆様からのお知らせはありませんか。高橋委員。

(高橋委員)

先ほどの部会報告の中で、部会長からの言葉にもありましたとおり、1月14日2時半から黒崎市民会館に山村武彦さんがいらっしゃいます。地域防災力向上事業として、私たちはアンケートを書きいただいたり、ワークショップをしたり、みなさんから協力をいただきました。その少しでも答えが見出せるようなお話が聞けるとお思いますので、こんな著名な人が、新潟に縁のある山村さんが目の前でお話くださる機会を逃さず、皆さん、ぜひ参加していただければと思います。もう地域課に出していると思いますが、まだ検討中だという方は、この会が終わりましたら地域課の錦織さん、吉井さんにすぐ出席のご報告をお願いしたいと思います。お願いいたします。

(大谷会長)

ありがとうございました。それではそのようにお願いしたいと思います。

それでは事務局からの連絡はありますか。

(事務局)

それでは、次回会議の開催日程等についてご連絡させていただきます。本日お配りしま

したお手元のA4資料「令和4年度西区自治協議会 開催予定」をご覧ください。次回、第10回自治協議会は、1月31日火曜日、午後3時からです。会場は本日と同じこちらの会場となります。会議の議題等、詳細につきましては、運営会議と調整させていただき、改めて皆様へご案内させていただきます。

続きまして本日お配りしたチラシの中から一つお知らせさせていただきます。本日お配りしたチラシのうち「バンケット補助金」と記載されたものをご覧ください。こちらの白地に赤いチラシとなります。こちらは観光推進課が所管する事業です。

長期化するコロナ禍により、未だ稼働が低迷している市内のバンケットの利用を促進することを目的に、コミュニティ協議会や自治会などが開催する各種会議や会合に係る会場費や備品使用料を補助する制度を6月1日より開始しています。この度、補助対象期間を令和5年2月28日まで延長しましたということのお知らせになりますので、ぜひご利用いただきたいというものです。チラシの内容等を後ほどご覧いただき、お問合せの先は観光推進課までよろしくをお願いします。

併せて先ほど高橋副会長からお話もありましたが、防災講演会のお申し込みは本日までとなっています。うっかり忘れていた方がいらっしゃれば、職員にお声がけいただきたいと思えます。また自治会・町内会自主防災組織に携わる方枠として150名を募集していましたが、本日現在で89名の方からお申し込みをいただいています。まだ席に余裕がありまして、本日までのお申し込みとなっています。一応2名ということで枠を設けてご案内させていただきましたが、ご希望があれば、追加でお申し込みいただきたいと思えます。期日は本日までとなっていますが、年明けすぐとかで電話で地域課までご連絡をいただければ、申し込み状況等を見ながらお受けしたいと思えますので、参加されたい方がいらっしゃいましたら、ぜひお声がけをお願いしたいと思えます。事務局からは以上です。

(大谷会長)

ありがとうございます。最後に一年の締めくくりとして、水野区長様からご挨拶をお願いしたいと思います。

(水野区長)

ありがとうございます。区長の水野です。今日は長時間にわたり、お疲れかもしれませんが、最後に一言だけご挨拶をさせていただきます。4月に西区長に就任しまして、約8カ月過ぎました。この間に自治協の皆様からいろいろなお話を聞くこともできましたし、また地域に直接出向いて行って、地域の皆様の声とか、あとは直接お会いして話を伺うということで、やはりコミュニケーションの大切さを改めて実感したところです。

今年の初めに、やはりコロナ禍ということで、コロナに始まっていますが、行動制限も緩和されまして、徐々に地域活動等も再開されてきたのかなと思っています。その中にアルビレックス新潟がJ2優勝ということで、来年は兎年なので、アルビのJ1リーグの活躍や、また西区では国道8号線から明田の116号線まで新たに中央環状線が開通したり、

西内野では県道の曽和線が開通したり、あとは小針では小針駅前のひろばが新たに竣工するというので、来年はたくさん明るい話題があると思っています。そのような意味で皆様からも区職員をはじめ、西区発展のために、また来年度もいろいろとご理解とご協力を賜るよう、お願いします。本当に今年はどうもありがとうございました。

(大谷会長)

ありがとうございました。最後に私からも一言ご挨拶を申し上げたいと思います。8期の委員の任期も1年9カ月を経過しました。この間、委員各位のご活躍、ご協力に感謝を申しあげたいと思います。お陰様をもちまして継続事業として第9期の委員に自治協議会提案事業を申し送ることができました。

一つは区民の美化意識の向上につながる環境美化に関する企画です。2番目に支え合いの大切さを普及させる事業です。3番目に西区の魅力を広く周知する事業です。また西区アートフェスティバルも10周年を迎えて、歴史と伝統を育むと同時に、企画の内容も充実してきました。広報紙「西区を豊かに」は、自治協議会や地域のさまざま情報を発信いただき、西区民との架け橋となっていました。残る任期もあと3カ月となりましたが、引き続き英知を結集していきたいと存じています。なお、いまだにコロナ禍ですが、委員の皆様のご健康とご多幸、そして令和5年がよい年となりますよう、お祈り申し上げまして、ご挨拶とさせていただきます。いろいろとありがとうございました。

それではこれにて令和4年度の第9回の西区自治協議会を閉会とさせていただきます。ありがとうございました。

(終了)